

大気重力波の中間圏・下部熱圏への影響について Effects of Atmospheric Gravity Waves in the Mesosphere-Lower Thermosphere (MLT) Region

津田 敏隆^{1*}
Toshitaka Tsuda^{1*}

¹ 京都大学生存圏研究所

¹Research Institute for Sustainable Humanosphere (RISH), Kyoto University

大気重力波は様々な過程により励起され、上方伝搬とともに運動量と力学エネルギーを輸送し、中層大気大循環の駆動ならびに超高層大気における擾乱に深く関係している。ここでは、ラジオゾンデ、流星・MFレーダー等の地上観測およびGPS電波掩蔽データを用いて明らかにされた大気重力波の特性を報告する。特に、中間圏・熱圏下部(MLT)領域での半年周期振動、あるいはスプラディックE層と大気重力波の相関について議論する。

キーワード: 大気重力波, 流星・MFレーダー, GPS電波掩蔽, 中間圏・下部熱圏, スプラディックE層, 半年周期振動
Keywords: Atmospheric Gravity Waves, Meteor/MF radar, GPS radio occultation, Mesosphere-Lower thermosphere (MLT), Sporadic E layer, Semi-annual oscillation